



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。  
メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

#### コーディネータコラム

社会連携・知財戦略室

主任コーディネータ 内藤 富美晴

コーディネータの内藤です。

4月に入り、本学も1200名をこえる新入生を迎え、いつもの新学期が始まりましたが、社会では、物価高騰や米不足などの問題が相変わらず続いています。

その上に、今年早々トランプ関税が発表され、その後日本はもとより世界中の国々が大混乱となっていますが、その影響は世界の実質 GDPが1%押し下げられ、賃上げによる経済の好循環が軌道に乗っている日本においても、今後は、製造業の雇用調整が加速するとの観測も出てきています。結果次第では、これまでの自由貿易を軸とした国際経済体制の大転換になるとも言われており、まさしくVUCA（ブーカ）の様相が強まっていると感じています。

そんななか、大阪・関西万博が13日に開幕し、半年間にわたり地球規模の様々な課題に取り組むイベントが始まりました。

同万博には、本学のOBである大阪大学の石黒浩教授がプロデュースするパビリオンが話題となっていますが、人間とアンドロイドの50年後の未来を見ることができると評判のようです。是非とも行ってみたいものですね。

さて本学では、大学が保有する知財や各研究者の技術シーズを社会実装し、社会や地域課題を解決することを目的に、3年ほど前から大学発ベンチャー創出に本格的に取り組んでいます。

これまでに研究シーズを事業化するための取組み体制を整えて研究者を支援した結果、現在9社が山梨大学発ベンチャーとして認定されています。

昨年度からは、JSTの「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」に採択され、信州大学を主幹機関とする甲信・北関東の7大学の特色ある研究成果・技術シーズに基づく起業を、自治体、金融機関等との連携により推進する新たな枠組み「Inland Japan Innovation Ecosystem (IJIE)」が始動し、本学もこのエコシステムを活用し、研究シーズの事業化創出の加速化を進めています。

このプログラムは、大学の研究シーズと事業化の間に潜む「資金の空白（ギャップ）」を埋めるために、政府が大学や研究者に提供する資金（GAPファンド）を提供するもので、大学内で進行中の研究が市場に出るまでの事業化の実証を支援する研究開発費として、創業前の段階で技術の実用化を目指す研究者に対して支給される制度です。

現在、本プログラムの令和7年度の募集が始まりましたが、学内においては多くの研究者の応募が見込まれるなど、研究者の事業化への意識の高まりを強く感じています。

その一方で大学発スタートアップには、起業にあたり経営人材や資金面で多くの課題が山積しています。その課題解決には、地域の企業様との連携も重要なポイントになるのではないかと考えています。会員の皆様には、皆様のネットワークを通じて、地域の企業様との連携につながる貴重な情報の提供など、様々なサポートを期待しています。

今年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

---

## インフォメーション 目次

---

- 01: プレスリリース (3件)
  - 02: トピックス (3件)
  - 03: イベント情報 (2件)
  - 04: 山梨大学特許公開情報 (3件)
  - 05: 事務局からのお知らせ
- 



- 01: プレスリリース (3件)
- 

### ◆生成 AI が山梨大学の研究について答える

#### 「山梨大学 学術論文対話システム」の運用を開始

山梨大学は、文部科学省「オープンアクセス加速化事業」の採択を受け、株式会社日立製作所 (<https://www.hitachi.co.jp/>) と共に、本学の研究者が執筆した学術論文の情報に基づいて生成 AI が対話形式で「山梨大学の研究」に関連する質問に答えるシステムを構築し、令和7年3月17日より運用を開始しました。

このシステムにより、高校・大学生や企業、地域の方々に、より深く本学の研究について知っていただく機会となることを期待しています。

詳しい内容については、下記 URL よりご覧ください。

[20250317pr.pdf](#)

### ◆「令和7年度「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」及び

#### 「医療機器産業技術人材養成講座」合同開講式が挙行されました。

令和7年4月15日、山梨大学 大村智記念学術館2階大村記念ホールにおいて、「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」及び「医療機器産業技術人材養成講座」合同開講式が挙行されました。

本学では、山梨県からの委託により、県内を中心とした社会人技術者等を対象に、水素・燃料電池製品製造などに必要な知識や技術を習得する機会を提供し、水素・燃料電池関連産業分野への参入に取り組みやすい環境を整備するために「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」を、医療機器に必要な技術や知識を習得する機会を提供し、医療機器産業分野への参入に取り組みやすい環境を整備するために「医療機器産業技術人材養成講座」を開講しております。

### ◆「山梨血小板研究センター」を設置

令和7年4月1日、大学院総合研究部医学域の附属センターとして、血小板バイオロジーを中心とした研究拠点「山梨血小板研究センター」を設置しました。本センターでは、本学の強みである脳科学との融合を図るなど、学際的な研究活動を推進し、山梨発のオリジナリティーの高い血小板バイオロジーを飛躍的に発展させることを目指します。

詳しい内容については、下記 URL よりご覧ください。

[https://www.med.yamanashi.ac.jp/cat\\_news/24922](https://www.med.yamanashi.ac.jp/cat_news/24922)



- 02: トピックス (3件)
- 

### ◆西崎博光工学域教授が電子情報通信学会・教育功労賞を受賞

工学部 機械工学系(旧メカトロニクス工学科)西崎博光教授が、電子情報通信学会の2024年度教育功労賞を受賞しました。

受賞題目は「若手研究者向け深層学習チュートリアルへの貢献」です。

電子情報通信学会が開催する研究会において、深層学習に関するチュートリアル講演を数多く実施したことにより、参加した若手研究者にとって、この分野への入門として非常に有益な機会となったことが評価されました。

詳しい内容については、下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/52586>

#### ◆ネーミングライツ事業に関する募集(締切間近)

山梨大学では、本学の教育研究環境の向上や施設の有効活用等を目的に、ネーミングライツパートナーを募集しています。

詳しい内容については、下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/52712>

#### ◆クラウドファンディングによる研究資金の募集開始

『究極の滴～100年先まで紡ぐ山梨大学ブランデー製造プロジェクト』

ワイン科学研究センター(センター長 鈴木俊二)は、新たな挑戦として「山梨大学ブランデー製造プロジェクト」を始動しました。

本プロジェクトは、単なるブランデー製造・販売を目的とするものではなく、学生とともに山梨大学の酒類研究の歴史を未来へとつなぎ、山梨大学の次の100年を築くための挑戦です。山梨大学の情熱が生んだ山梨大学ブランデーが、皆様に愛される『究極の滴』となるためにも、多くの方々のご支援とご協力をお願いいたします。

今回、研究活動費を、クラウドファンディングサービス「READYFOR」により募っています。

詳しい内容については、下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/52368>



03 イベント情報 (2件)

#### ◆「山梨大学個別技術相談会の開催について」のご案内

本学は株式会社山梨中央銀行との「包括的業務連携に関する協定」に基づく産学官金連携の取組みとして、「山梨大学個別技術相談会」を開催します。本相談会は、地域の事業者の皆様に対し大学における研究、ノウ

ハウ、知見を紹介するとともに相談内容について提案・助言等を行い、大学の研究シーズと地域の事業者のニーズとのマッチングを図ることを目的としています。

幅広い分野でコーディネータがご相談させていただきますので、お気軽にご相談ください。

【日 時】令和7年5月27日(火)・28日(水)

10:00～17:00

【場 所】Takeda Street Base (タケダストリートベース)

※(甲府市武田2-9-4YC 武田通ビル1F)

【面談形式】山梨大学産学連携コーディネータと事業者の皆様との面談を個別スペースで行い各種技術相談に応じます。

(1社あたりの面談時間:約50分)

【共 催】株式会社山梨中央銀行

【参加企業】募集中

詳しい内容については、下記 URL よりご覧ください。

<https://www.scrs.yamanashi.ac.jp/event/4455/>

◆第37回アカデミックサロンのご案内

第37回アカデミックサロンを2025年6月20日(金)、16:00～開催を予定しております。

今年度、第1回目となるサロンは、みなさまのご期待に沿えるよう趣向を凝らして開催する予定でございます。

詳細につきましては、5月中にご連絡いたしますので、今しばらくお待ちください。

□■

■04 山梨大学特許公開情報 (2件)

本学整理番号：P23-011

出願番号：特願2023-065058 出願日：2023/04/12

公開番号：特開2024-151594 公開日：2024/10/25

発明の名称：選果装置及び情報処理方法

出願人：国立大学法人山梨大学

発明代表者：小谷 信司 先生

長谷 季樹 (学生)

発明の概要：

【要約】

【課題】果物をより精度よく選別することができる、選果装置及び情報処理方法を提供することを目的としている。

【解決手段】情報処理部を備えた選果装置であって、前記情報処理部は、画像取得部と、果物情報取得部とを有し、前記画像取得部は、果物画像を取得するように構成され、前記果物情報取得部は、領域取得部と、判定部とを有し、前記領域取得部は、前記果物画像に基づいて、果物の果柄領域を取得するように構成され、前記判定部は、前記果柄領域に基づいて、前記果物の果柄の有無を判定する、選果装置が提供される。

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1801/PU/JP-2024-151594/11/ja>

本学整理番号：P23-017PCT

国際出願番号：PCT/JP2024/029217 出願日：2024/08/16

国際公開番号：WO2025/041725 公開日：2025/02/27

発明の名称：塩及び前記塩を含む麻酔薬

出願人：国立大学法人山梨大学

発明代表者：古藤田 眞和 先生

発明の概要：

【要約】

下記一般式(1)で表されるイオン(ただし、一般式(1)において、Lは、アルキル基、イオン性置換基を有するアルキル基、又はイオン性置換基であり、X及びYは、それぞれ独立に、水素原子又はヨウ素原子であり、Zは、第四級アンモニウム基である)とカウンターイオンとの塩であって、前記カウンターイオンが、臭素イオン、塩素イオン、又はヨウ素イオンである塩、又は、下記一般式

(1)で表されるイオン(ただし、一般式(1)において、Lは、アルキル基、イオン性置換基を有するアルキル基、又はイオン性置換基であり、X及びYは、それぞれ独立に、水素原子又はヨウ素原子であり、Zは、第四級アンモニウム基である)とカウンターイオンとの塩を含む麻酔薬であって、前記カウンターイオンが、臭素イオン、塩素イオン、又はヨウ素イオンである麻酔薬である。



■04 事務局からお知らせ

---

◆令和7年度新技術情報クラブ会員登録更新について

今年度の継続更新をいただきまして、誠にありがとうございました。  
会費の請求書送付につきましては、5月下旬を予定しております。

今後もより一層、会員の皆様のご期待に応えられるよう努めてまいりますので、今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、これまでに更新のご意向の確認をいただいていない、会員様におかれましては、お手数をおかけいたしますがご連絡くださいますようお願い申し上げます。

◆技術課題等、ご相談について

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。  
会員会社様の持つておられる技術課題を伺います。  
ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽に連絡してください。

---



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

